

校訓 生き抜く力 ～ 見つめよ自己を 求めよ友を 惜しむな汗を ～



日南小学校／日南中学校



電話 (0859)77-1200 ファクシミリ (0859)77-1201
メール nichinan-e@mailk.torikyo.ed.jp

電話 (0859)82-1225 ファクシミリ (0859)82-1226
メール nitinan-j@mailk.torikyo.ed.jp

文責 日南中学校 吹野 玉枝

「チームにちなん」

日南小学校長 木下欣夫

中学校の黒見校長先生が、「チームにちなん」で……ということをおっしゃっています。いろいろな所で「チームにちなん」が組織され、動いています。

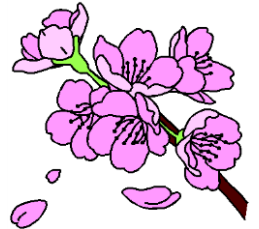
学校や、保育園では、保小中一貫教育を進めています。「保小連携会議、保小合同研修会」——保育園と小学校の先生が定期的に子どもたちの姿について話し合っています。「小中戦略会議、小中合同研修会、合同授業研究会」——小学校と中学校の先生が、子どもの指導や授業の進め方について研修しています。時には「授業づくり」「仲間づくり」「健康づくり」のチームに分かれてテーマを持ちながら話し合っています。

PTA は今、「日南小中学校 PTA」として小学校と中学校の PTA が一体となって学校や子どもたちのため活動しています。

地域のいろいろな団体や関係の方たちとともに学校や子どもたちのことを考えるチームもあります。「学校評議員会」「学校教育推進協議会」「子ども支援連絡会議」「教育懇話会」「学校支援連絡協議会（にちなん子ども応援隊）」等です。

そして、小学校・中学校の児童生徒がスクラムを組んで活動を展開しているものもあります。「ともいき科（前期・中期・後期ブロックで学習活動を行います）」「小中合同マラソン」「小中合同音楽会」等です。

他にも大小様々なチームがありますが、これからも「チームにちなん」で日南の子どもたちを育てて行きたいと思います。応援をよろしくお願いします。



6年生ありがとう —6年生を送る会—

3月8日、小学校では「6年生を送る会」を開催しました。来年度最上級生となる5年生が中心となって送る会を企画しました。会では、どの学年もこれまで6年生にお世話になった感謝の気持ちを出し物にして発表しましたが、各学年の個性が良く出ており、工夫を凝らした発表ばかりでした。6年生は、「恋ダンス」を披露してくれましたが、さすが6年生、息の合ったキレのあるダンスに感心させられました。全員合唱の歌声は会場に響きわたり、日南小学校の子ども達の心の温かさや絆の強さを感じることができた集会となりました。



『終わり良ければ、全て良し!』にするために・・・・・

日南中学校長 黒見 隆久

「終わり良ければ全て良し」という諺（ことわざ）があります。もともとは、今から 400 年ほど前に、イギリスの劇作家・詩人であるシェークスピアの作品名「All is well that ends well.」を訳したものだそうです。

「終わり良ければ全て良し」とは、物事は最終の結末がもっとも大事であり、結果が良ければ途中の過程は問題にならないという意味で使われます。それは、最後の印象、さらに喜びの印象はもっとも強く記憶に残りやすい人間の性質（心理）を、ある意味「プラス思考」でとらえた解釈なのではないかと思います。

日南中学校の1年も終わろうとしています。今年も生徒たちはさまざまな行事、活動、学習、部活動などなど……で、結果として良い「成果」や「効果」を挙げ、町民の皆さんからもたくさんの「拍手」や「賞賛」をいただきました。ありがとうございました。

しかし、最後の結果だけが「評価」されたのではないと思っています。それまでの過程がなければ、この結果は絶対に生まれていないのでから……。「終わりをよくする」【中学校では『感動を共有する』と言っていました】ために、一生懸命努力した、苦労した、悩んだ、時には失敗した、あきらめそうになった……などなど、そこまでの過程の中の、「マイナス」も含めたさまざまな経験を活かすことができたとき、初めて「終わり良ければ全て良し」の言葉の意味や価値が決まるのだと思います。

1年後、どんな『感動の共有』ができるか……。

新生 日南中学校……新入生 26 名を迎えて全校生徒 80 名。来年度がんばりましょう！ 引き続きご支援・ご協力をお願いします。



『見えないから 見えたもの』の講演を聞いて

3月16日に行われた、日南町家庭教育講演会に中学校1，2年生が参加し、講師の岡山県の岡山盲学校の先生をしていただいた竹内昌彦氏の講演「見えないから 見えたもの」を聞きました。

竹内先生は、幼い頃の病気が元で視力を失われ、友達からいじめを受けたり、将来を悲観して前向きに生きられなかったご自身の体験を語られました。人に喜んでもらえること、人の役に立つことが人間として価値のある生き方であり、そのためにしっかり生きて、勉強して「優しい子」になってほしいと語られました。

講演後のアンケートでは、ほとんどの生徒が『大変参考になった』と記入し、とても前向きな感想がたくさんありましたので、生徒の感想を紹介します。

生徒の感想より（抜粋）

*私は目が見えないということはよく分かりませんが、竹内さんのお話を聞いてとても感動しました。私は今とても元気に生活しています。それはたくさんの人のおかげなんだと思い胸が熱くなり涙を流すことも多々ありました。先生のお話はとても参考になり考えさせられるすてきなお話でした。

*どんなに辛いことがあっても前向きに生きておられる竹内さんがすごくカッコいいなと思いました。自分も後ろ向きになってしまうことがありましたが、お話を聞いて自分の悩みがすごく小さなものに思えました。

*みんなを大切にしていきたいです。

*障がいのある方の役に立ちたいと思ったし、勇気を振り絞ってでもお手伝いをしようと思いました。この話を聞いてよかったです。

*竹内さんのお話を聞いて、これまでどのように生きてこられたかや人生のことについてとても勉強になりました。生きたいのに生きられない人もいるから、その人達のためにもちゃんと生きないといけないと思いました。僕も優しい人でありたいと思いました。

